

令和3年度 基盤技術開発プロジェクト 健康・医療情報活用技術開発課題 (旧IoT等活用行動変容研究事業)

- IoT・AI分野を中心とした技術革新を背景に、日常生活の健康データは、予防・健康増進に加えて、患者の行動変容の促進やQOLの向上等、医療現場での利活用についても期待が高まっている。実際に、糖尿病軽症者に対して、食事や運動等の健康データをもとに、医師等が患者の状態に応じた効果的な介入を実施したことで、行動変容を促し体重やヘモグロビンA1c値の改善に寄与することが、これまでの研究結果により得られている。
- そのため、より一層の医療現場と民間企業が連携し、健康・医療データを医師の診療等の参考情報としての活用にむけて、現場の具体的なニーズを踏まえた課題解決型の研究開発事業を実施する。

● 実証事業の内容

【目的】

重症化予防や疾患との共生が必要な分野を対象に、ウェアラブルデバイス等のセンサーやデジタルツールの活用によって収集された個人の日常生活における健康データを解析することで、医療現場で医療従事者によって適切に活用される手法を開発する。

更に、将来の具体的な社会実装を想定した研究プロトコルに基づいて研究を実施し、健康データの活用が重症化予防、継続治療等の成果向上につながるエビデンスを構築する。

【想定する事業】

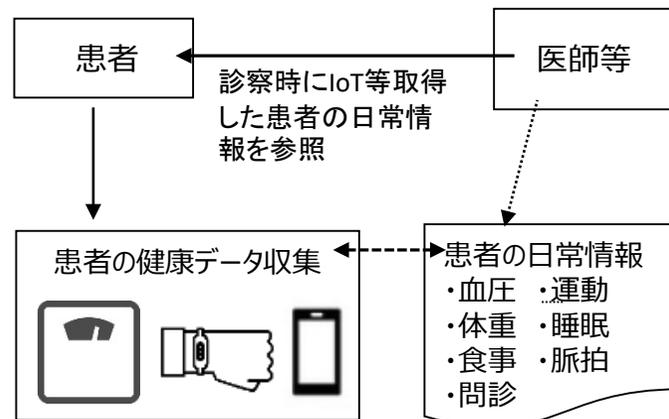
下記①～③分野に該当する健康データを医療現場で活用する手法の研究開発 (各0-2件採択)

- ①行動変容により重症化予防等が期待できる治療分野に該当する健康データを医療現場等で活用する手法の研究開発、
- ②神経・運動機能障害分野に該当する健康データを医療現場等で活用する手法の研究開発、
- ③術後ケア分野に該当する健康データを医療現場等で活用する手法の研究開発

【成果】

- 研究開発することによるエビデンスの創出、医師の診療支援に役立つ仕組みを確立
- 課題解決に向けたソリューションを確立、社会実装を具現化 等

【事業スキーム】



● スケジュール

研究事業終了後に社会実装が可能となるよう、医師・企業・関係団体等が連携した研究体制を構築し、以下のスケジュールで事業を実施する。

